



小野田由紀子 議員

### 福祉行政について

**問** 本市の単身高齢者の現況と見守り態勢について。

**答** 単身高齢者数は、平成26年4月現在で、872人。5年前より209人の増です。性別では男性が300人、女性が572人、年齢別では、65歳が207人、70歳が380人、80歳が254人、90歳以上が31人です。見守りについては、民生児童委員とシルバー人材センターの見守り推進委員の連携により安否確認を実施していただいております。本年度は、更に県のモデル事業である「市町村地域活動支援強化事業」に取り組むこととしております。

**問** 本市における孤独死の実態と真岡市の緊急通報システムの導入について。

**答** 昨年度は3件の孤独死を把握しており、高齢者の見守りは、地域での見守りと緊急通報シス

テムなどの機器による見守りの両面からの支援が必要になる場合もあり、将来的な課題であると認識しております。

### 男女共同参画社会の推進について

**問** 働く女性の子育てや介護と仕事を両立できる、ワークライフバランスの強化について。

**答** 働く女性の支援である、保育園や学童保育の待機児童の解消として、家庭的保育の活用ですが、新制度においては、食事の提供が必要になり、利用料も保育料と同様な形式となるため利用しやすくなる。児童クラブでは、6年生まで対象が拡大し児童センターを活用して年間を通じて過ごせる居場所を提供する予定です。

**問** 女性の生涯を通じた健康づくりについて。

**答** 女性特有のがん検診事業を中心に支援策を行ってきた。平成26年度は、子宮がんは20歳の244人、乳がんは361人にクーポン券と健康手帳を送付し、5年間の未受診者にもクーポン券を送付させていただいた。また、更年期の予防法や対処法について、地域での普及啓発に努めていきます。

### 環境行政について

**問** 油ヶ淵水質環境基準達成の具体的取組みについて。

**答** 環境基準COD5mg/l以下達成にむけ、平成32年までに達成すべき目標を設定し、9つの対策実施。具体的には、河川湖内対策として、河床の浚渫、湖内の覆砂、下水道普及率・接続率目標の達成、啓発活動として油ヶ淵浄化デーにおける一斉清掃と水環境モニタリング実施など。平成32年度にはCOD6mg/l以下まで改善。その後、下水道整備が完了する頃には環境基準が達成できると予測します。

**問** 稗田川の環境整備について。

**答** 前橋から小橋までの河川整備工事は完了。堤防道路は未舗装で背後地の活用含めた整備が必要と認識している。地元の方々の意見をお聞きし「川のみち」を整備していきます。

**問** COP10「あいち森と緑づくり事業」について。



杉浦敏和 議員

**答** 愛知県から「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」の交付金で自然学校を開催している。今年で5回目、来年度は、5月を目途に実施していく。

**問** 農業の環境整備について。

**答** 水田営農が中心の本市では温暖化対策として、暑さに強い稲の品種改良など、西三河農林水産事務所と連携を密にしている。特産品づくりでは、ジャンボ落花生に32戸の農家が取組み中。

### 防災行政について

**問** ゲリラ豪雨の対策として、家屋・敷地への浸水防止の止水板設置補助について。

**答** 県内の実施自治体の制度内容の調査と、浸水被害地域のご意見等も踏まえ検討していく。

**問** 防災機能を持った公園作りについて、仮称「論地どんぐり公園」の整備状況と今後の計画は。

**答** 一時避難所として災害時に、付近の皆さんが避難できる公園として整備中。9月14日に第1期造成工事が終了、引き続き第2期工事として遊具・休憩・トイレなどの施設設置工事に取り掛り、平成27年3月末完成、4月供用開始を予定しています。